

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 30日

事業所名 オリーブまなびの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	発達年齢に応じて環境設定をしている。	環境の見直しは適宜今後も行っていく
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%	子ども一人に対しての人員は手厚く配置されている。	法令遵守しているが、幼児の専門性を持った職員の確保が今後の課題。研修などでスキルアップを行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	子どもに合わせて、写真カードやイラストカード等を用いて構造化をしている。	オーダーメイドの環境設定を今後も行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日清掃、アルコール消毒を実施している。活動に合わせて机や教具の配置に工夫している。	今後も子どもの発達に合わせた構造化を適宜検討していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	常勤と非常勤職員が情報共有ができるツールを導入している。	非常勤職員の意見も取り入れながら、現場がスムーズに支援を行なえるように見直しをしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年保護者からの評価表を集計し、職員に周知している。	評価表だけでなく、面談の際に聞いた保護者の方のニーズも共有できるように会議内容に盛り込んでいく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPIにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%	第三者による評価は実施していない。	今後検討が必要。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修の機会がある。	今後はそれぞれの職員の自主的に学びたい気持ちを育めるよう、研修の情報提供を会社で行っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	アセスメントの様式やモニタリングの分析方法の見直しを行った。	今後も現場に即した形で計画がスムーズに作成できるよう適宜見直しを行う
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	JSI-R等のアセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	子どもや保護者のニーズに合わせて、ガイドライン項目から支援内容を設定している。	今後もガイドラインの改定などがあれば、情報をアップデートしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	引継ぎシートを活用して全職員が支援計画を共有し、支援実施できるようにしている。	月ごとに支援内容の共有、決定をしていく仕組みを作っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	職員間で相談しながら立案している。	月ごとに支援内容の共有、決定をしていく仕組みを作っていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	学校の行事や季節のイベント等に関連した内容を実施している。	月ごとに支援内容の共有、決定をしていく仕組みを作っていく。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	100%	0%	土曜日に小集団クラスを開設している(月1回)	今後は日々の療育の中で、コミュニケーショントレーニングを行なえる遊びのプログラムを導入していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時や申し送りノートを活用し、当日の役割分担を確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	翌日の朝礼時に子どもの様子を共有し、振り返りを実施している。	終了時に共有できない時もあるので、引継ぎシートを見直したが、今後も内容のブラッシュアップしていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	保護者向けの連絡帳や職員間で共有する引継ぎシートに活動記録を取っている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に振り返りを実施している。非常勤職員も含め、支援に関わる職員の意見を反映できるようにプロセスシートを導入した。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	20%	児発管が参加している。	セルフプランの児童ばかりの為、相談支援事業所との担当者会議の実施がないが、今後はセルフプランのお子様も、児童発達支援センターとも連携を図れるようにしたい。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	受け入れ前に、こども園に見学やご様子を聞きにしています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	80%	該当する児童はいません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	80%	該当する児童はいません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	0%	通園している施設へ見学へ行かせていただき、施設長等と情報共有を実施している。	今後も実施していく。また利用後も情報共有する機会が持てるように、連携を図っていきたい。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	60%	20%	就学前のお子様は、保護者の方に助言を行い、学校に伝えて頂いている。	今後は支援学級の先生等に情報共有できるよう、連携を図れるように努める。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	研修を受けている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	長期休暇時に子育て支援センターへ行き、地域の子どもと関わる機会を設けた。	今後もそのような機会を設けていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	参加している。	委員として今後も参加します。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お迎え時やLINE、連絡帳で活動中の様子や気になること等を伝え、保護者からも園やご家庭での様子を聞き取っている。	今後はモニターでのモニタリングの機会を設定し、共通理解を深められるように努める。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	60%	20%	ペアトレは実施していない。	現在ペアトレの実施がなく今後の課題とする。それに変わるもので、保護者様の子育てに有益な学習会の案内等を今後も行っていく。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明している。	令和6年度の制度改正のための説明を行いました。今後も変更点が生じた場合は、説明を行っていきます。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	ガイドラインを配布し、同意を得ている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	事業所内相談以外にも適宜行っています。	皆様が相談しやすいように、定期的な機会を設定するように検討する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	参観後に保護者会を実施し、保護者同士の交流の機会を設けた。	今後も保護者様の繋がりが持てる企画を考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者からの相談や申し入れがあった際は、職員間で共有し対応している。	LINEなども用い、軽微な相談もお受けできる体制を今後も継続していきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月イベント予定表の配布や適宜LINEにてお知らせしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	外部に漏れないように全職員が管理している。	今後もSNSについての個人情報同意書を毎年取り直し、個人情報の取り扱いには十分留意していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者の方に分かりやすいように情報伝達のタイミングなど配慮している。	今後も利用の方に合わせた対応を行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	0%	夏休み期間中に人形劇を開催し、地域のお子様・保護者の方にご参加いただいた。地域のボランティアの方と共同し、「絵本のひろば」を開催した。	今後も地域資源を活用しながら、地域の方を知っていただける機会を設けていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	事業所内ではBCPの策定を行なっています。保護者には家庭用マニュアルを配布し周知しています。高石市一斉訓練などを活用し、津波を想定した訓練を行っています。	今後はBCPに基づき訓練・研修を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害用備品や避難経路の確認は定期的実施している。今年度は児発・放デイの児童と避難訓練を実施した。	来年度は実際に避難ルートを子どもと一緒に歩く訓練を実施します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	毎年フェースシートにて服薬等の情報を更新している。	災害時も想定し、利用時は服薬されている薬を携行して頂くように変更する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーの有無は事前に確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・事例が出た場合は、記録し朝礼時に職員間で共有している。	虐待防止委員会で法人内の共有も深めていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	80%	20%	現在身体拘束が必要なお子さまはいません。	必要なお子さまがいないので、現在記載はしていません。必要が生じたら記載を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。